

取組事例

企業名 : 社会福祉法人泰仁会	所在地: 茨城県石岡市
従業員数 : 187 名	業 種: 社会福祉施設

取組の目的:

介護福祉業界の職場風土改善をめざし、仕事と家庭の両立しやすい職場作りに取り組むとともに、すべての職員が働きやすい職場環境の整備を目指して、所定外労働の削減及び年次有給休暇の取得促進を図っている。

取組の概要:

〈現在の取組〉

○ トップメッセージ

利用者の満足、経営基盤の安定、職員の働きやすい環境の整備の三方得を経営理念とし、ワーク・ライフ・バランスの推進を事業計画の重点課題の一つとして取り組む。

○ ワーク・ライフ・バランス研修等の実施

全職員を対象に、ワーク・ライフ・バランスの目的、内容について、年1回の全体研修の他、階層別研修等も行い、働きやすい職場は職員1人1人が作るものであることを意識付けている。また、職員の意識調査を年2回実施し、ワーク・ライフ・バランスに関する理解度及び要望を把握して、理解度を勘案した当該研修を階層別に行うとともに、要望に基づいて子育て支援休暇の取得期間が子が小学6年生までから中学3年生まで延長するなど、ワーク・ライフ・バランス推進の取組に活かしている。

○ 時間外労働の削減

- ・ 部署ごとに週2日の「NO残業DAY」の実施
緊急事案の発生時を除いて実施している。
- ・ 会議及び研修の所定労働時間内の実施
主任会議で各部署の会議等の日程調整を行い、会議等の際は他部署からの応援を受けることにより可能としている。
- ・ システムソフトの導入
日報、ケース記録、業務日誌等の書類の作成についてシステムソフトを導入して作成を簡易にするとともに、可能な部分は入力担当者を置いてその者に行わせ効率化を図っている。

- シフト間の引継ぎ方法の改善、役割分担の明確化・勤務体制ごとの協力体制の構築
パソコン内にシフト間の申し送りサイトを設け引継ぎを簡便にするとともに、シフトごとの主要業務を明確にし、同一シフト内での協力体制や、シフト間で15分の重なり合う時間帯を設定することによってシフト間での協力体制を構築し、主要業務をシフト内で終了させることに改善を図っている。
 - 音声入力システムの導入
パソコン操作が不得意な職員に慣れるまでの間活用させ、効率化を図っている。
 - 衛生委員会における各部署の時間外労働時間数の提出と審議の実施
- **年次有給休暇の取得促進**
- ワーク・ライフ・バランス研修を通じて、積極的に年次有給休暇を取得するよう職員に意識付けている。
 - 部署毎の事業計画に、取得率の目標(今年度付与日数の80%)を組み入れさせている。
 - 毎月取得率を管理職に通知し、管理職は部下の取得状況について管理している。
 - 取得率の低い職員に対し、ワーク・ライフ・バランス推進担当者から個別にアプローチしている。
- **仕事と家庭の両立しやすい職場づくり**
- 子が小学校就学の始期に達するまで、所定外労働の免除
 - 事業所内託児所の設置
 - 育児短時間勤務(中学校就学前まで)にフレックスタイム制を導入
 - 子育て支援休暇(有給)の導入
 - 中学3年生までの子供の学校行事等への参加のための休暇 外

現状とこれまでの取組の効果:

- 職員1人当たりの月平均所定外労働は、平成26年度3.29時間、平成27年度2.9時間と減少している。
- 年次有給休暇の取得率は、平成26年度78.6%、平成27年度82.0%と上昇している。